

# 伊賀市社会事業協会

# 2008

2008年10月15日 第15号  
発行 者

社会福祉法人伊賀市社会事業協会  
理事長 西岡 時彦  
〒518-0032三重県伊賀市朝屋739番地の2  
TEL 0595 - 21 - 5545  
FAX 0595 - 23 - 6670  
URL <http://www.ict.ne.jp/~u-s-j/ueno>

## 「均しからざるを患う」

社会福祉法人 伊賀市社会事業協会  
会 長 森 下 達 也

二十世紀最大の出来事を一つ挙げるとすれば、一九一七年十月の「ロシア革命」ということになるだろう。日本人としては「太平洋戦争」と言いたいところでもあるが、世界史上初めてソビエト連邦という強大な社会主義国の誕生をみたことが、以後数十年に亘って資本主義国対社会主義国という恐怖の対立時代を生み出したのだから、正に空前絶後の出来事であった。この対立構図は、一九九一年のソ連崩壊をもって終息したことになるが、そう単純でもあるまい。形を変えた対立と紛争は今なお世界各地にあり、加えて、社会安定のためには社会主義的発想にも何程かの比重をかける必要があると考える政治家が、日本の保守政党の中にさえ少なくないからである。そしてこの自由と規制をめぐる対論は、今後の福祉制度に大きな影響を与えることになる筈である。

ところで、私は一九四五年八月二十二日、くだんの社会主義国の機甲部隊を大連市でむかえたのであった。終戦の詔勅から僅かに一週間未だ殺気の消えない街を、スターリン型重戦車のキャタピラが路面のアスファルトを踏み砕き、砲座を回転して威嚇した。占領後の予定の行動ともいえるべき婦女暴行と掠奪は、今も語りつがれる事実であるがここでは触れまい。私はその時、旧制中学の二年生になっていた。しかし軍

事教練と勤労奉仕に明け暮れていた日々の中で、社会主義国ソビエト連邦とはどういう仕組みの国か、自由経済と計画経済がどう違うのか等、知っている筈はなかったのである。抑々八月九日の奇襲侵攻まで、ソ連は未だ敵国ではなかったのだ。

往時同級生らが交した会話を再現してみよう。「ソ連のことをおやじに聞いたんだけど、働かざる者は食うべからずという主義なんだそうよ、その代り働く者はみんな平等らしいよ」、「国の一番偉い人でも社長でも掃除係でも給料は同じだそうよ、本当かな」、「違うぞ、あの国には社長はいないんだ全部公務員だそうだから」、「大連にも白系ロシア人てのが沢山いるのだよ、あれは革命の時に反対して逃げたのだからすぐ処刑されるらしいよ」、云々。

やがて、ソ連の人々はみな平等だという宣伝は、真つ赤な嘘であることを知った。わが家は祖国に帰るまで一年半をソ連占領下で過ごしたのだが、その間、ソ連軍内部の上下の格差乃至差別が徹底したものであることを度々目撃して来た。食事について言うなら、将校と兵の間では、人間の食事と動物の餌くらいの差があるように感じられた。諸事平等どころか不満を抑え付けていたのだから。更に亡命者白系ロシア人の抵抗活動が、今なお世界各地でつづいていることも知った。だがしかし、強力な軍事と統制の支えるソ連が磐石であることを疑う者は、往時いなかっただであらう。

一九九一年、ロシア革命から数えて七十四年、クレムリンに落城の日が訪れ

たことはご承知の通りである。ソ連支配からの離脱を願う東欧諸国の人民蜂起に始まり、ついに本家ソビエト連邦も崩壊したのであった。倒したのは何処かの大国の軍力ではない。要するに忍耐を強いられてきた庶民の憤懣が、堰を切って倒したのである。想えばニコライ王朝を倒したロシア革命は、生活上と社会の公平を求めて十数万人の人々が行進した「血の日曜日」が発端であった。ソビエト連邦は、革命成就から七十四年の歳月をへだてて皮肉にも同じ轍を踏み、内部から倒されたのだ。

日本の政治家のみなさん、地球上に「格差」の全くないアルカディアは何処にもないからといって、今日の収入格差や地域格差の拡大傾向を軽視しないで頂きたい。グローバル経済の時代といえども社会安定の原点は自国の人間の心なのである。二千五百年前の論語の中に、そのことを指摘する一文がある。「国をたもち家をたもつ者は、寡なきを患えずして均しからざるを患え、貧しきを患えずして安からざるを患う」と。



写真／紅葉に映える・曾我宏三

盲養護老人ホーム 梨ノ木園

「ふるさとを訪ねて」

梨ノ木園では、ご利用者がなつかしい故郷や思い出の土地を訪ね、長い間会っていなかった人たちと再会していただくという『ふるさとを訪ねて』を実施させて頂いています。

今回、梨ノ木園に在園されている加藤つや子様(90歳)から長らく行っていないお墓参りに行きたいとご希望があり、かつて住んでいた地域の散策も兼ねて、伊賀市上野寺町にある「妙典寺」(奥山俊桂住職)を参拝いたしました。



加藤様と奥山ご住職

お墓に着くと、綺麗なお花が供えられてありました。加藤様のご親族が墓守をして下さっていたのでしよう。それを知って、とても安心して下さったようでした。

お寺では奥山ご住職と久しぶりにお会いになり、大変喜んでおられました。その後、若い頃生活していたなつかしい場所や思い出深い街を散策していただき、地域の行事にまつわる思い出やご自分の体験されたことを一つひとつを噛み締めるよう話して下さいました。



妙典寺本堂にて

園の生活だけでは得られないこともあり、今後もこういった取り組みを大切にしていきたいと思います。



ボランティアの福田様(左)とご利用者

「また、面会に来られたご家族が他のご利用者と顔馴染みになられ、今では良き話し相手、相談相手になって下さっています。また、お花が好きなご利用者がお元気な頃に植えられた花を、ご家族が面会にみえる度に「皆さんで楽しんで下さい」と両手いっぱい抱えて持って来て下さいます。四季折々の花を玄関やフロアに飾り、楽しませていただいています。本当にありがたい、今後も多くのご協力をいただき職員も頑張りたいと思います。」

身体障害者支援施設 梨丘園

開園8周年記念行事～陶芸教室

梨丘園の8回目の開園記念日に、陶芸作家谷本洋先生を講師としてお迎えし、ご利用者のご家族にも参加していただき、陶芸教室を開催しました。



陶芸作家 谷本洋先生

先生からは、「できる限り自分自身の手で、自由な発想で作ってほしい」とアドバイスをいただきました。

陶芸は初体験の方がほとんどでしたが、皆様は夢中になって、試行錯誤しながら個性的な器や皿、置物などを作られていました。

短い時間でしたが、ご利用者にはご家族と共に楽しくなごやかな時間を過ごしていただけたと思います。

また、この機会を通して陶芸の楽しさ、魅力を少しでも感じていただけたのではないかと思います。



作陶を楽しむご利用者

特別養護老人ホーム第二梨ノ木園

地域・家族・ボランティア

「皆様にゆめを伝えられて」

特別養護老人ホーム第二梨ノ木園は、今年二十七周年を迎えました。これも多くの方のご協力があったことと感謝しております。ご利用者の生活のなかで楽しみのクラブ活動には、大勢のボランティアの方が講師として指導に来て下さっています。

また、面会に来られたご家族が他のご利用者と顔馴染みになられ、今では良き話し相手、相談相手になって下さっています。また、お花が好きなご利用者がお元気な頃に植えられた花を、ご家族が面会にみえる度に「皆さんで楽しんで下さい」と両手いっぱい抱えて持って来て下さいます。四季折々の花を玄関やフロアに飾り、楽しませていただいています。本当にありがたい、今後も多くのご協力をいただき職員も頑張りたいと思います。」

おめでと〜うございませす!

日盲社協・奉仕者表彰

去る六月十九・二十日の両日、山口県下関市において開催された第五十六回全国盲人福祉施設大会において、ボランティアの奥田英夫様・やえ子様ご夫妻と小林ふじ智様が奉仕者表彰を受賞されました。奥田様は、昭和四十六年梨ノ木園開園当初より自営業の休日を利用して、ご利用者の理髪奉仕を長年続けていただいております。また、小林ふじ智様は、昭和五十七年より、毎月一回ご利用者の民謡指導を続けていただいております。受賞者の皆様には心からお祝い申し上げますと共に、多年にわたる奉仕活動に感謝申し上げます。



26年間民謡の指導を続けていただいている小林ふじ智様

梨ノ木園開園当初より理髪奉仕を続けていただいている奥田英夫様・やえ子様▼



老人施設のページ

デイサービスセンターなしのき

楽しい手作り創作活動

老人デイサービスセンターなしのきでは、レクリエーションの時間を利用して創作活動などを行なっています。

六月二十三日からの一週間は「七夕まつり」と題して笹の葉の壁掛け作りを楽しんでいたいただきました。手作りの笹には、お一人おひとりの願い事が綴られ、出来あがった作品は季節を感じさせる素晴らしい作品となりました。素敵な出来栄えに思わず『ささのはさらさら...』と七夕さまの歌が聞こえてくる楽しい一週間となりました。また、七月十四日には顔馴染みのこ



笹の葉の壁掛け作り

利用者や職員をモデルにして、似顔絵を描いていただきました。最初の頃は戸惑いも見られましたが、出来上がった作品は、似ているもの、似ていないもの、様々。一所懸命描き上げた作品に、ほえまれる方がたくさんおられ、笑い声の絶えない時を過ごされました。今後も色々な創作活動を計画していきます。皆様、どうか楽しみにして下さい。

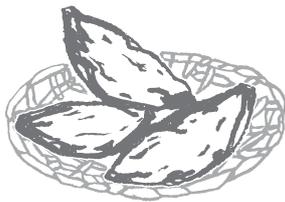
いただきます〜す  
「さつまいもで健康に！」

さつまいもは、秋から冬にかけてが旬の野菜です。栄養的に大変優れており、ビタミンC、ビタミンE、カリウム、食物繊維が多く含まれています。特にビタミンCは豊富で、さつまいも(約200g)1本で成人が1日に必要とする量を摂取することができます。

ビタミンCの様々な効用の1つに、メラニン色素の沈着を抑える働きがあります。これは、しみ、そばかすの予防に有効です。また、ビタミンEには、過酸化脂質の生成を妨げる働きがあります。これら2つの栄養素の相乗効果で美肌作用が期待できます。

さつまいもを切った時に包丁に付着する白い液体をヤラピンといいます。この成分は、食物繊維とともに便通を良くし、大腸がんの予防につながります。また、カリウムも豊富で、体内の塩分バランスを調整し、血圧を下げる作用があるため、高血圧の方に有効です。

さつまいもは調理法も様々で、「おやつに、おかずに」と万能です。この旬の時期においしくいただけます。



ご寄付をいただき、ありがとうございます。

このたび、梨ノ木園では、三重県社会福祉協議会様を通じ東芝テック株式会社様よりの寄付分配金をいただきました。おかげ様で食器消毒保管庫の取替整備をすることができました。

ここに東芝テック株式会社様をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝申し上げます。



すばらしい作品が出来あがりました



# 伊賀上野城の散歩道



ひかり保育園の近くに、高い石垣に支えられるかのように雄大な伊賀上野城がそびえています。お城は広い上野公園の西方に位置しています。公園内には松尾芭蕉の旅姿をイメージできる俳聖殿や、芭蕉に関する数多くの資料・文献が収納されている芭蕉翁記念館、また、忍者屋敷、忍術博物館などがあり、一帯は自然豊かな公園として整備されています。

公園内には、子どもたちが四季を通して慣れ親しんでいる散歩道がいくつかあります。季節や子どもの体力を考え、コースを決めています。



ワーイー、お城だ！



天守閣めざして、よいしょよいしょ

北コースを進むと、涼気ただよう木立の中をくぐり抜け、細い坂道を登り、大きな石段にたどりつきます。「よいしょ、よいしょ」のかけ声で最上段に着くと、お城広場です。そこから三層の天守閣をめざして走ります。天守閣に続くひんやりとした石段に腰をおろして、ほっと一息。子どもたちの表情には、お城にたどりついた満足感があふれています。

今年、藤堂高虎公入府四百年。歴史豊かな伊賀上野城を身近に仰ぎ、先人たちの活力に出会うため、これからも「伊賀上野城への散歩道」を歩き続けようと思っています。



# 子どもの笑顔は宝物〜世代間パワーで相乗効果〜



「ひよっこ育成クラブ(伊賀在住のみなさん長寿推進協力員)」の方々が、「園児が明るく心豊かに育ち、人を思いやる気持ち育てるよう」と交流を申し出て下さいました。協力員の方々は、「交流を通して、人間形成に大切な幼児期の子どもの笑顔を絶やさないようにしたい」とおっしゃいました。

まず、手作りの大型紙芝居をバックに「かにむかし」を熱演され、子どもたちはお話の世界に引き込まれていきました。「かにさん、だいじょうぶ」



おじいちゃん もう1回



熱演中のひよっこ育成クラブ

「おさるさん、はちがかくれているよ」など、演じ手と一体となった子どもたちの瞳に協力員様の想いが届いていたようでした。その後、紙ひこうきの折り方を教えていただきました。「この笑顔を宝物としてぜひ守っていきたいなあ」と目を細められました。

協力員の皆様の子どもをいとおしむ心、次代を担う子どもたちに寄せる期待、そしてその思いを受けて育つ子どもたち…。お年寄り子どもとのパワーが相乗して、会場が笑顔でいっぱいでした。

# サマーカレー クッキング



発育発達期の重要な時期にある子どもの食生活に関心が寄せられています。保育園では乳幼児期からの適切な食事のとり方や望ましい食習慣の定着、食を通じた豊かな人間性の育成など、心身の健全育成を図るために食育に取り組んでいます。

そこで、地域のお年寄りと一緒に保育園の菜園で育ててきた玉ねぎ、じゃがいもなどを使ってサマーカレーを作りました。お年寄りに、ピーラーや包丁の安全な使い方を、手を添えて教えていただきました。「長い皮が出てきたよ」「じゃがいもって固いなあ」など、なごやかにクッキングが進み、子どもたち笑顔があふれました。給食室で煮込んで



お年寄りとのたのしい食事



真剣なまなざしで…

もらっていると、園内においしい香りが広がります。食欲がそそられました。でき上がったカレーをいただいた子どもたちは「おいしいなあ」と、お年寄り顔を見合わせました。おかわりもたくさんしました。

今後も、地域のお年寄りと一緒に野菜作りやクッキングを続け、食への関心を育んでいきたいと思えます。

## 親子の交通安全教室

幼児の交通事故が多発している現状をふまえ、親子で交通安全について学び、生涯交通事故に遭わない社会

人の養成をめざすことを目的として、市内の自動車学校で開催された交通安全教室に参加しました。ビデオで



信号の見方、横断歩道の渡り方、チャイルドシートの着用方法など視聴・体験した後、ダミー人形による衝突実験を見学しました。参加した親子はあまりの衝撃に声も出ない様子でした。様々なプログラムを終えて交通事故の恐ろしさや命を大切にすることを痛感していたようでした。

保育園でも子どもの交通安全指導をさらに強化し、保護者と共に交通安全意識の高揚に努めたいと思えます。



正しい信号はどれですか？



## 小学二年生との楽しい交流



昨今、きょうだい数の減少傾向が続いています。そこで、保育園では異年齢児とのふれあいを目的に、毎年夏に、五歳児と小学一年生との交流会を行なっています。

少し緊張した顔、ひさしぶりといった顔の一年生が三十二名来園。保育園での思い出がよみがえるようにと用意したしゃぼん玉あそびをしているうちに、子どもたちは打ち解け



しゃぼん玉とんだ、たくさんとんだ

てきました。○×クイズコーナーでは、五歳児と一年生が相談して答えを出しあい、結果に一喜一憂、大いに盛り上がりました。



かぶと虫に夢中になる子どもたち

続いて、民生委員、主任児童委員の皆様から、かぶと虫がプレゼントされました。このかぶと虫は、委員の皆様が昨年の秋以来、幼虫、さなぎ、成虫にと大切に育てていただいたものと、近くの森林で採取して下さったものです。委員の皆様の子どもを慈しむ心に包まれて、五歳児と一年生の交流が一層深まったようです。

### 福祉有償運送が始動!

かしの木ひろば

八月より中部運輸局三重運輸支局の許可をいただき、病院の通院等、日常生活に必要な移動において、一般の公共交通機関の利用が困難もしくは不可能である方を支援することを目的として、道路運送法による福祉有償運送サービスを開始しました。

福祉有償運送は、道路運送法に基づく運転講習を修了したヘルパーが運転して、自宅から病院・買い物先など「ドア・ツー・ドア」の個別輸送を行ないます。中でも、自宅から目的地に移動して一緒に過ごし、その後自宅に戻るといった児童への支援が増加しています。

私たち運転者が交通ルールを守り、安心・安全・信用・心遣い・声掛けをいつも頭において、きめ細やかな支援を心がけていきたいと思えます。



スロープ付有償運送車両

### 日中一時支援事業

かしの木ひろば

障がいのある中学生、高校生の家族にとって、夏休みや冬休みなどの間、子どもがどの様に過ごすかは、深刻な問題です。「父母は仕事で家にいない」「安心して預ける所がほしい」「家族以外の人とかかわりを持ちたい」といった相談や要望も多く寄せられています。かしの木ひろばでは、そんな要望にこたえて、日中安心して過ごせる場の提供という目的で「日中一時支援」を実施しています。

今期の夏休みも、初めて利用される方1名を含めて4名の方が利用されました。普段、学校で過ごされている方にとっては、いつもと異なる環境に戸惑いもあったようですが、徐々に慣れて自分の居場所を見だし、かしの木ひろばのご利用者や職員との交流を通して、話し相手や友達を作っていました。また、ご家族からも喜びの声をたくさん聞かせていただきました。



音楽療法に参加

### より安全に、心地よく

……かしの木ひろば、改修工事終わる

平成20年3月、三重県障害者自立支援基盤整備事業の補助を受けたトイレと浴室等の施設の改修工事が完成しました。

男女兼用だったトイレを男性用、女性用、多目的用の3つに増やし、プライバシーを確保するとともに、混雑を解消しました。自動ドア、自動照明、ウォシュレット、折りたたみベッドなどを完備し快適に使用していただけます。ナースコールも職員の目の届きやすい位置に設置し、緊急時もさらに素早い対応が可能となりました。

浴室の脱衣場には、車イスのまま使用できる棚、十分な着替えスペース、洗面台を設置しました。また、浴室内は一般浴槽と特殊浴槽を刷新し、体を洗うスペースを充分確保しました。一般浴槽はシャワーチェアから腰をかけたまま移乗でき自動で湯船の中に入っていただけ、特殊浴槽はストレッチャーの大きいものを採用し、ご利用者への着替えの際の負担を軽減しました。さらに、浴槽は気泡が発生し気持ちよく入浴していただけるようになっています。

ご利用者の皆様が安全に心地よくご利用いただける設備に生まれかわりました。



新しくなった浴室

### 音訳講習会

上野点字図書館

上野点字図書館は、昭和四十六年四月に開設され、視覚障がい者の文化と福祉の向上を目的とした各種事業を行なっています。なかでも、点字録音図書製作・貸出業務が、当館事業の大きな柱です。この録音図書の製作に携わっていただける音訳ボランティアの養成講習会を、今年度も開催しています。音訳は、書かれていることを書かれている通りに音声に置き換える作業です。そのためには、発音やアクセントを習得するだけでなく、どのように読めば聞き手（視覚に障がいがある方）にとって聞きやすく、わかりやすく伝わるか、常に考えて取り組む姿勢が求められます。

近年は、デジタル化の影響で、従来のカセットテープへの録音作業から、パソコンやデジタル録音機を使つての録音作業に移行していますので、新しい録音機の知識や操作方法などもあわせて研修しています。本講習会を通して、音訳に関する知識を幅広く吸収していただき、一日でも早く録音図書の製作現場において活躍いただけることを熱願しています。



音訳ボランティア養成講習会

# お知らせひろば

【ご支援ご協力いただいている方々】  
(平成20年1月～平成20年7月)

## 《個人》

— 敬称略・五十音順 —

- 有野 康昭、井岡 昭、石原 京子、伊藤 利史、稻森 光孝、井上 喜作、猪木 千里、岩名 拓二、上田 順孝、上野タエ子、大角 秀彦、太田 久子、大西 寿子、大矢 孝臣、岡田 茂樹、岡森 金一、岡森眞理子、小川 秀貴、小澤 周而、川浪 玲子、岸 保、北泉 優子、久米 光孝、小林かじ智、坂本 澄江、佐々木聖子、清水 栄子、杉本ちえみ、角田 充代、曾我 宏三、竹島 和美、田中美代子、玉台 正和、田山紗知子、丹下真由美、塚本 初子、戸高 久昭、豊田 實、中井 浄江、中井 純一、中川 定子、長町 尚格、中森 勇、中山 洋美、西岡加代子、西口 義金、西田 誠、西出 成子、西堀 一誠、服部 京子、平井 誠一、福澤 正志、福田三重子、藤井 康美、藤島 千代、藤森 三重、前川 健一、前川 恒、前川 光枝、村田 修三、森下 弘子、森田 満枝、森田やえ子、森中 一美、矢倉 昌、山口 徳平、山口 義美、山下 吉男、山出 治男、大和 幸司、山本 浜子

## 《団体》

— 敬称略・順不同 —

- 伊賀マシッコクラブ、上野高誠奉仕グループあい、上野高誠グループしほのび、上野高誠グループしほのび、名張高誠奉仕グループあかり、名張高誠グループたまたま、給手紙しほのび
- 絵本ボランティア「ももこ」、カマキリ部隊、舊園ホール「語り部塾」、ボランティアグループあゆみ、ボランティアグループミックスニュース、大滝地区、小田公民館、小田町自治会、桂地区、寺町地区自治協議会、長田地区、治田地区、古山公民館、古山区長会、三田地区自治連絡協議会、三田公民館、古山地区民生・児童委員、ゆめが丘地区民生・児童委員、予野地区愛の小鳩事業団、伊賀医師会、伊賀警察署、伊賀地区交通安全協会女性部、白百合の会、寺町老人会、徳居町老人クラブ、福居町老人クラブ、ひよこ子育てクラブ、南山城村、グループ「よつば」、光都の会、混声合唱団「O・G・U」、岡波看護専門学校、高田短期大学、三重県社会福祉協議会、三重県共同募金会、上野商工会議所、上野ロータリークラブ、上野東ロータリークラブ、伊賀上野ライオンズクラブ、黒住教上野中教会、天理教島ヶ原大教会、日蓮宗法寺上野支院安立寺、平井神社、アルフレッサ、伊賀北部農協古山かれあい店、イセ食品、井本薬局、おのす整形外科、大矢歯科医院、岡森薬局、小川モーターズ、桔梗屋織居、大正富山医薬品、たぐすオカダ、グリーンティー高尾、コーカ共同製茶、田山第一共同製茶工場、田山北部共同製茶工場、田山南部共同製茶工場、中外製薬、中北薬品、東芝テック、戸田医科器械店、西尾アソキ、西田整形外科医院、日本ファイン、白鳳建築設計事務所、福田書工務店、古山郵便局、町野欣栄堂、ワタシ商会

## ～ 平成19年度 当法人の決算諸表 (公益事業会計含む) ～

資金収支計算書(法人全体)  
平成19年4月1日～平成20年3月31日

勘定科目	決算額
介護保険収入	372,908
自立支援費収入	155,485
利用料収入	32,137
措置費収入	190,710
運営費収入	1,046,698
私的契約利用料収入	3,539
その他の事業費収入	29,128
経常経費補助金収入	225,098
寄附金収入	3,948
雑収入	27,009
借入金利息補助金収入	683
受取利息配当金収入	320
会計単位間繰入金収入	2,020
経理区分間繰入金収入	68,093
経常収入計	2,157,776
人件費支出	1,530,331
事務費支出	143,153
事業費支出	306,923
借入金利息支出	947
会計単位間繰入金支出	2,020
経理区分間繰入金支出	68,093
利用者負担減免額	462
経常支出計	2,051,929
【経常活動資金収支差額】	105,847
施設整備等補助金収入	43,469
施設整備等収入計	43,469
固定資産取得支出	117,774
施設整備等支出計	117,774
【施設整備資金収支差額】	-74,305
借入金元金償還補助金収入	3,000
借入金収入	35,000
積立預金取崩収入	30,800
財務収入計	73,800
借入金元金償還支出	9,876
積立預金積立支出	28,020
財務支出計	37,896
【財務活動資金収支差額】	35,904
<当期資金収支差額合計>	67,446
〔前期末支払資金残高〕	201,232
当期末支払資金残高	268,678

事業活動収支計算書(法人全体)  
平成19年4月1日～平成20年3月31日

勘定科目	決算額
介護保険収入	372,908
自立支援費収入	155,485
利用料収入	32,137
措置費収入	190,710
運営費収入	1,046,698
私的契約利用料収入	3,539
その他の事業費収入	29,128
経常経費補助金収入	225,098
寄附金収入	3,948
雑収入	27,009
引当金戻入	137,577
借入金元金償還補助金収入	8,000
国庫補助金等特種立取崩額	72,108
事業活動収入計	2,304,345
人件費支出	1,531,426
事務費支出	143,153
事業費支出	306,923
減価償却費	121,238
利用者負担減免額	462
引当金繰入	133,354
事業活動支出計	2,236,556
【事業活動収支差額】	67,789
借入金利息補助金収入	683
受取利息配当金収入	320
会計単位間繰入金収入	2,020
経理区分間繰入金収入	68,093
事業活動外収入計	71,116
借入金利息支出	947
会計単位間繰入金支出	2,020
経理区分間繰入金支出	68,093
事業活動外支出計	71,060
【事業活動外収支差額】	56
【経常収支差額】	67,845
施設整備等補助金収入	43,469
その他の収入(事業活動)	19,031
特別収入	62,500
固定資産売却損処分損	43,469
国庫特別積立金積立額	43,469
その他の支出(事業活動)	19,031
特別支出	63,349
【特別収支差額】	-849
【当期活動収支差額】	66,996
〔前期繰越活動収支差額〕	682,860
【当期末繰越活動収支差額】	749,856
その他の積立金取崩額	30,800
その他の積立金積立額	28,020
【次期繰越活動収支差額】	752,636

貸借対照表(法人全体)  
平成19年4月1日～平成20年3月31日

勘定科目	決算額
流動資産	352,970
現金預金	138,219
未収金	213,576
立替金	4
前払金	1,171
固定資産	2,757,180
固定資産(基本財産)	1,824,903
建物	1,637,447
土地	187,456
固定資産(その他固定資産)	932,277
建物	200
構築物	8,126
機械及び装置	11,575
車輦運搬具	9,400
器具及び備品	105,375
ソフトウェア	12,052
建設仮勘定	25,962
権利	898
投資有価証券	10
措置施設繰越特定預金	108,472
建設積立預金	50,000
償還積立預金	5,000
人件費積立預金	72,370
修繕積立預金	125,507
備品等購入積立預金	44,050
保育所施設設備整備積立預金	105,800
その他積立預金	101,000
退職共済掛金	146,480
資産の部合計	3,110,150
流動負債	210,044
未払金	103,730
預り金	6,513
仮受金	11
貸与引当金	99,790
固定負債	205,604
設備資金借入金	59,124
退職給与引当金	146,480
負債の部合計	415,648
基本金	111,313
国庫補助金特別積立金	1,218,354
その他の積立金	612,199
建設積立金	50,000
償還積立金	5,000
人件費積立金	139,674
修繕積立金	153,025
備品等購入積立金	57,700
保育所施設設備整備積立金	105,800
その他積立金	101,000
次期繰越活動収支差額	752,636
(うち当期活動収支差額)	66,996
純資産の部合計	2,694,502
負債及び純資産の部合計	3,110,150

## 編集後記

鮮やかな彼岸花の赤色が、田んぼの畦で秋を告げています。温暖化や集中豪雨、そんな世界的な気象変動にも惑わされず、毎年同じ時期に、燃えるような花を咲かせています。私たち人間はというと、環境、気象、地震など少しの自然の変化に右往左往してしまいます。彼岸花のようにまっすぐな茎で大地にしっかり立っていたいものです。

おかげさまで会報も15号を発行できることとなりました。今後とも皆様のあたたかいご協力をいただいで、しっかりと歩んでいきたいと思ひます。(編集子)

施設案内

「安心をあなたへ」

梨ノ木診療所

梨ノ木診療所は昭和五十六年特別養護老人ホーム第二梨ノ木園の開園と共に開所し、入所者の皆様の健康保持・増進に努め、広く地域住民の方々に医療・福祉の提供を念願してまいりました。ようやく平成十七年ごろより診療所移転計画が本格化し、地域の皆様のご理解とご協力によりまして診療所移転新築の運びとなり、平成二十年七月一日オープンすることができました。当診療所は「博愛・信頼・誠実」を基本理念とし、ご利用いただく方々



移転新築した梨ノ木診療所



機能回復訓練中

に安心と喜びの医療と福祉の明かりを灯せるよう、職員一同努めてまいります。

医療内容は、整形外科を中心とした診療に加え、健康診断、特定健診や労働災害・交通事故に係るもの、高齢者の筋力低下・転倒予防のための運動リハビリテーションなどを行なっています。秋からは通所リハビリテーションを始める予定をしていますので、多くの方のご利用をお待ちしております。

また、診療所敷地内にはグラウンドを設けてあります。地域の皆様の憩いの場として、またご利用者のレクリエーションの場としてご利用していただけたら有り難いと存じます。

梨ノ木診療所は皆様の健康を守ってまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

当協会の施設 (定員)

①	盲養護老人ホーム 梨ノ木園	70人
②	特別養護老人ホーム 第二梨ノ木園	50人
③	老人ショートステイ	20人
④	老人デイサービスセンター なしのみ	
⑤	在宅介護支援センター なしのみ	
⑥	梨ノ木診療所	
⑦	曙保育園	180人
⑧	睦保育園	90人
⑨	三田保育園	60人
⑩	中瀬城東保育園	115人
⑪	友生保育園	90人
⑫	花之木保育園	45人
⑬	予野保育園	45人
⑭	長田保育園	45人
⑮	古山保育園	45人
⑯	みどり保育園	150人
⑰	心身障害児療育施設 かしのみ園	
⑱	ひかり保育園	120人
⑲	みどり第二保育園	120人
⑳	府中保育園	90人
㉑	ゆめが丘保育所	200人
㉒	上野点字図書館	
㉓	伊賀市盲人ホーム	
㉔	障害福祉サービス事業 かしのみひろば	
㉕	身体障害者支援施設 梨丘園	20人
㉖	児童クラブ フレンズうえの	
㉗	児童クラブ キッズうえの	
㉘	法人本部事務局	

